

動物を抱っこすると、「温かいな」と感じる人が多いと思います。これは、人間の体温よりも動物の体温が高いからです。人間の平熱は36～37度ですが、犬や猫は38～39度。鳥はさらに高く40～42度もあります。

これには、人間と動物の運動量の差が大きく関係しています。体温は筋肉量や運動量が多いほど高くなります。もともと野生動物だった犬や猫は、人間よりも運動量が多く、自然と体温も高くなるのです。鳥の場合は、体温を高く維持することが、運動量の多い「空を飛ぶこと」のウォーミングアップになっていま

あ  
ん  
し  
ん  
ペ  
ツ  
ト  
ラ  
イ  
フ  
⑪⑨

## 動物の体温はなぜ高い？

す。一方、ダチョウやペンギンは飛ばないため、平熱は40度以下です。鳥が飛ぶためには、体温を高く保っていることが重要ということです。

飼い主は加齢によって動物の体温が低くなることを知っておいてください。人間でも、若者よりもお年寄りの方が寒さに弱いと思いますが、動物も同じことがいえます。筋肉量や運動量が低下すると、体内で熱を作ることが難しくなってしまうからです。

対策としては、食事と運動習慣に気を付けることが重要

です。食事は、食べる量が減っても十分な栄養が確保できるようシニア用のペットフードがおすすめです。筋肉などを作るタンパク質や脂質など高齢化した動物に必要な栄養が計算されています。

筋肉量の低下を防ぐためにも、毎日無理のない範囲で散歩などの運動を続けることも重要です。正しい対策を心がけ、動物と一緒に元気な毎日を過ごしてほしいと思います。

(アニコム損保  
獣医師 宮本茜)